

緑土会の活性化へ向けて 「関東緑土会だより NO17」

20190831 発行

1、誌上クラス会 「OB会だより」(別紙資料)

今後「OB会だより」と称して2018年4月より「関東緑土会」によりOB訪問先などを選定・企画し掲載しています。

第17回目として「関東緑土会だよりNO17」については

- 1、関東緑土会への寄稿文 「応援歌・緑土音頭の心意気」 五艘 章さん(昭和41年卒業)
前田建設工業OB(別紙資料)
- 2、誌上クラス会 株式会社フジタ OB会だより(別紙資料)
- 3、武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部 OB会だより(集合写真 別紙資料)
- 4、前東京都議会議長「川井しげおを励ます会」 参加日8月2日(別紙資料)

- 5、若築建設株式会社 緑土会OB訪問 訪問日7月22日(別紙まとめ資料)
- 6、総合技術コンサルタント株式会社 緑土会OB訪問 訪問日8月1日(別紙まとめ資料)
- 7、(一般財団法人)港湾空港総合技術センター 緑土会OB訪問
訪問日8月8日(別紙まとめ資料)
- 8、東洋建設株式会社 緑土会OB訪問 訪問日8月6日(別紙まとめ資料)
- 9、東亜建設工業株式会社 緑土会OB訪問 訪問日8月6日(別紙まとめ資料)
- 10、株式会社ビー・ビー・エム 緑土会OB訪問 訪問日8月20日(別紙まとめ資料)

前田建設工業OBで現在NPO法人建設技術監査センター理事長・関東緑土会顧問の五艘 章さん(1966年 昭和41年卒業)に原稿をお願いしておりましたが、今回「関東緑土会への寄稿文「応援歌・緑土音頭の心意気」 五艘 章」の原稿を寄稿して頂きましたので紹介します。

以前より「関東緑土会だより」にて紹介していましたが改めて「誌上クラス会 株式会社フジタ OB会だより」の原稿を頂きましたので紹介します。現在30名の緑土会会員が在籍しています。名簿を掲載します。

又武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部 OB会が6月23日に開かれましたが、この会に参加された緑土会会員の皆さんの集合写真を頂きました。

前東京都議会議長「川井しげおを励ます会」(昭和46年卒業)が参加日8月2日に開催されました。同窓生も参加しておりますので紹介します。

今回は写真のみの紹介ですが「若築建設株式会社」「総合技術コンサルタント株式会社」「(一般財団法人)港湾空港総合技術センター」「東洋建設株式会社」「東亜建設工業株式会社」「株式会社ビー・ビー・エム」の6社を7~8月に訪問しましたので、その時に撮影した写真を紹介します。また各社のOBの皆さんに原稿をお願いしていますので次号以降ご紹介いたします。

会員の皆さんは、職場内、地域、学年ごとのクラス会、研究室のOB会、クラブ活動のOB会など、各種の集まりが開かれて、出席されていると思います。

この集まりは各種組織内での会合のため横の繋がりが弱く広がりが狭いと感じています。

またOB全員の消息が分かっている訳ではなく、仲間の消息を知りたい等の希望もあり、何らかのツールが欲しいとの話も聞こえております。

「OB会だより」は緑土会卒業生・在校生が自由に活用して頂ければと思いますが、「関東緑土会」として積極的に「待ちの姿勢ではなく」OBを訪問し記事を収集・募集・掲載するようになりたいと思っています。

2、「関東緑土会だより」

(1) 関東緑土会だより

- ・「関東緑土会」の活動を紹介したり、会合の報告をしたり、「OB会だより」の経過・企画説明など、この「関東緑土会だより」にて紹介していきたいと思っています。
- ・誌上クラス会 「OB会だより」の訪問時には、以下のことを緑土会OBの皆さんにお願いしています。

- ① 緑土会活動の活性化に向けて「緑土会ホームページ」の紹介とリサーチ依頼
- ② 緑土会総会・懇親会に出席の依頼（今年は11月10日土曜日開催予定）
- ③ 交友会のメール登録のお願い（「都市」やホームページを参考に登録促進）
- ④ 「りよくど」や「関東緑土会だより」への原稿の投稿依頼
- ⑤ 緑土会OBの紹介依頼
- ⑥ その他

(2) 編集後記

皆さんお忙しい中原稿を書いて頂き感謝しております。

学生諸君や入社したての緑土会OBの皆さんに読んでいただいて「緑土会OB会員」が色々なところで活躍していることが情報として伝わり参考になれば幸いです。

先月号まで、なかなか掲載出来ませんでしたが今月号に「誌上クラス会 株式会社フジタ OB会だより」として掲載することが出来ました。関東緑土会高橋副会長（フジタ顧問）と進藤敏則フジタ緑土会会長に感謝いたします。

来月号以降は「若築建設株式会社」「総合技術コンサルタント株式会社」「（一般財団法人）港湾空港総合技術センター」「東洋建設株式会社」「東亜建設工業株式会社」「株式会社ビー・ビー・エム」の各社の「緑土会OB会だより」の原稿を頂き次第掲載予定です。

また今後の新規紹介ですが、皆さんより情報を頂ければ、緑土会OBを訪問し順次掲載することを予定しております。

今後の企画として「緑土会女子OB会」として意見交換会を開催する構想もあります。ご意見いただければ幸いです。

新年度からは、会社訪問を発展させて「現場で活躍をされている緑土会会員の紹介」を今後テーマとして取り上げていきます。緑土会会員の紹介だけでなく、掲載が許される範囲で現場の状況などを誌上にて紹介します。

今後も原稿提供を皆様をお願いしています。よろしくお願ひします。

小林 哲 男（昭和47年卒業）

誌上クラス会 訪問先 一覧

会報「りよくだ」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者	
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考		
りよくだ No.24 (2018/03/31)	2018年3月19日	株式会社 森本組 東京本店	柏原 恵一 石原 正志	S57卒 S58卒		船越 小林	
	2018年3月22日	株式会社 竹中土木 東京本店	安藤 慎一郎 中村 士郎	S57卒 H 3卒		船越 小林	
りよくだ No.25 (2018/05/07) 関東緑土会だよりNo.1		ワンダーフォーゲル部 卒部会	船越 靖彦 高崎 智紀	S43卒 現役(1年生)		船越	
	2018年4月18日	ライト工業株式会社 R&Dセンター	横田 弘一 星野 秀太 関 徹也 中山 豊彦	S61卒 H30卒 H 6院卒(機械) S53卒		船越	
	2018年4月20日	大成建設株式会社 横浜支店 土木OB会	佐藤 康夫 石井 克典 渡辺 秀昭 大沼 正彦 小林 哲男 岡田 仁 天田 拓	S37卒 S39卒 S39卒 S40卒 S47卒 S48卒 H03卒		小林	
りよくだ No.26 (2018/06/05) 関東緑土会だよりNo.2	2018年4月27日	緑土会 大阪訪問 (大豊建設・福田組・鉄 建建設)	松井 秀一 永田 佳敬 大沢 悟	S54卒 S57卒 S58卒(機械)		船越	
	2018年5月17日	東京ソイルリサーチ	田部井 哲夫 伊藤 雅朗 安 浩輝	S53卒 S53卒 H 8卒		船越 小林 中山	
	2018年5月22日	関東緑土会総会・懇親会	五艘章(S41)、川邊富明(S41)、船越靖彦(S41) 小林哲男(S47)、高橋年秋(S48)、鈴木高志(S49) 中山豊彦(S53)、太田一三(S58)				
	2018年5月9日	青木先輩のご逝去の報に接し		S44卒		小林	
りよくだ No.27 (2018/07/06) 関東緑土会だよりNo.3	2018年8月2日	福島支部での近況報告	佐藤安宏支部長 関根康孝事務局長 伴野史典幹事	S37卒 S55卒 H 7卒		船越	
	2018年6月21日	京王建設 株式会社	寺門 聰 南 達也 川崎 津良	S53卒 S62卒 H 4卒		船越 小林 中山	
	2018年6月11日	東電設計 株式会社	栗原 美津雄 藤井 健知 黒瀬 浩公	S53卒 H 3卒 H 3卒		船越 小林 中山	
りよくだ No.28 (2018/08/15) 関東緑土会だよりNo.4	2018年6月18日	福島支部 OB会	由井 理 (中間防衛・環境安全事業(株)) 佐藤 幸一 (株)千代田コンサルタント 関根 康孝 (株)オリエンタルコンサルタンツ	S51卒 S54卒 S55卒		船越 小林	
	平成30年6月21日	日本のトンネル技術の国 際化と私の活動	太田 義和	S42卒			
	2018年7月7日	千葉支部総会	五艘章(S41)、船越靖彦(S41)、宮崎義昭(S45)、安田茂 (S45)、中村進(S48)、村田慎吾(S51)、松浦弦三 (S51)、菅澤浩之(S54)、滝波善裕(S55)、高橋貞夫 (S57)、岡田孝(S59)、北岡聡(S62院)、高柳昌司(H2)、中 町源徳(H7)、久保田融(H12)、保田裕之(H12)				船越
	2018年7月23日	川井しげおを励ます会	川井しげお	S46卒		小林 太田(S56卒)	
りよくだ No.29 (2018/09/06) 関東緑土会だよりNo.5	2018年7月2日	株式会社 篠塚研究所	静間俊郎	H 7卒		船越 小林	
	2018年7月26日	飛鳥建設株式会社	袴田 歩 渡邊 康之 川里 麻莉子 早川 英一	S55卒 H 3卒 H22卒 S61卒(機械)		船越 小林 中山	
	2018年8月8日	関東緑土会 鈴木副会長の 送別会	鈴木高志	S49卒		小林	
		「ドボコン」コンテスト作品募集		(社)建設コンサルタンツ協会関東支部 50周年記念イベント			

会報「りよくど」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考	
りよくど No.30 (2018/10/04) 関東緑土会だよりNo.6	2018年8月23日	セントラルコンサルタント(株)	澤田 純一 高橋芳之 大熊正人 大野木隆介 若林晋平	S58卒 H08卒 H20卒 H27卒 H27卒		船越 小林 中山
	2018年8月20日	エイト日本技術開発株式会社	磯山 龍二 佐々木 秀典	S53院卒 H08卒		船越 小林 中山
	2018年9月13日	奈良建設(株)	佐藤 貢一 萩原 邦郎 島倉 徹也 岩崎 和隆	S60卒 H02卒 H06卒 H11卒		船越 小林
	2018年9月5日	東急建設 鈴木関東緑土 会副会長送別会	鈴木高志	S49卒		小林
			「ドボコン」コンテスト作品募集		(社)建設コンサルタンツ協会関東支部 50周年記念イベント	
りよくど No.31 (2018/11/07) 関東緑土会だよりNo.7	2018年9月6日	仙台訪問(緑土会) ・青木あすなる建設 ・陽光建設 ・前田建設	鈴木一功 峯岸勇一	S63卒 S61卒		船越 小林
	2018年10月15日	ワンダーフォーゲル部	小池精一	S54卒		
		日本遺産・谷石文化を巡るツアー開催(案内)				
りよくど No.32 (2018/12/03) 関東緑土会だよりNo.8		特別講義 第8章「グローバル社会における経営」		経営システム工学科		
	(2018/9/13) 2018年10月22日	三信建設(株)	島野 嵐 大沢 一実 山崎 淳一 原田 良信	H09卒 S52卒 S57卒 H11卒		船越 中山
	2018年11月8日	(株)カナコン	大木 唯嘉 花上 幸弘	S59卒 H07卒		船越 中山
	2018年11月7日	「日本遺産・大谷石文化」を巡るバスツアー開催		校友会主催		小林
りよくど No.33 (2018/1/23) 関東緑土会だよりNo.9	(2018/10/1) 2018年11月15日	川田工業(株)	街道 浩	S60年卒		(船越 中山) 小林・中山
		オーストラリア紀行記	小林			
	2018年12月20日	幹事忘年会 (小林会長 高橋服会長 船越顧問 中山幹事)				
りよくど No.34 (2019/1/23) 関東緑土会だよりNo.10	2018年12月13日	大日本コンサルタント(株)	齋藤哲郎 新井聖司	S58年卒 (S60年院卒) H18年環境情報学科卒		船越 中山
	2019年1月11日	鈴木副会長 近況報告				
りよくど No.35 (2019/3/8) 関東緑土会だよりNo.11	2019年1月30日	(株)横河ブリッジ	山下祐次 山浦昭洋 永田 孝 渡邊秀貴 小澤明弘	S58年卒 H 3年卒 H 4年卒(H 6年院卒) H 8年卒(H10年院卒) H26年卒		船越 中山
	2019年2月2日	茨城県 武工会 平成31年総会に出席させて戴いて				船越
りよくど No.36 (2019/4/) 関東緑土会だよりNo.12	2019年2月18日	ケミカルグラウト(株)	菊地孝明 唱 伸吾 渡邊陽介 岩崎結子	S53年卒 H10年卒 H17年卒 H19年卒		船越 中山
	2019年2月28日	日本ファブテック(株)	西本哲也	S56年卒(S58年院卒)		船越 中山
	寄稿文	「現場に育てられた 土木人生」 (株)フジタ		新藤敏則	S55年卒	



『応援歌・緑土音頭の心意気』 技術士 五艘 章 (1966年土木卒)

応援歌「緑土音頭」に鼓舞されて青春を謳歌した同期の桜 119 名に卒業から 53 年の歳月が流れた。志半ばで逝った 24 名の仲間の冥福を祈り、武運に恵まれて喜寿を迎えた 95 名の仲間と米寿を迎えるまで、母校にエールを送り続けたい。



1966年3月 土木工学科卒業・謝恩会 椿山荘



1963年7月 自由ヶ丘柏葉学舎の寮長として最後の寮祭 井上教授の雄叫び



戦後 35 年、我が国は戦争から生還した若者による技術開発・国造りにより世界第 1 位の労働生産性を誇り、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と評価される。それから 35 年、労働生産性は先進 7 カ国の最下位、OECD 加盟 36 カ国の 20 位に低落し、国内には倫理観無き不祥事が蔓延し「20 年後には人口流出、少子化により全国の自治体の半数以上が消滅する」と警鐘が鳴らされている。国家存亡の危機に対し、日本再生戦略として①震災・原発事故からの復活、②経済成長と財政健全化の両立、③新成長戦略の実行加速と強化・再設計の具体案を決定し産・学・官協働が始まっている。

東京都市大学は世界の大学 840 位にランキングされているが学長の目指す 300 位実現を願って、後輩諸君へのエールとして同期の仲間と踊り歌った「緑土音頭」と緑土健児として生涯現役で燃えている一〇Bの生き様を紹介したい。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 多摩の流れの清らかな水を 緑土健児は酒を汲む | 5. 月は照る照る 篝は燃える もえる思いを唄でやる |
| 2. 踊れ男の子よ どんと 踊れ 秋の長夜の白むまで | 6. 自治を呼びて 我等は永遠に 緑土健児の意気を見よ |
| 3. 吹けよ 秩父の山よりおろす 嵐踊の音頭とる | 7. 歩め 男の子よ 正しき道を 自治と自由を誇りつつ |
| 4. 芙蓉の高嶺をはるかに望み 武蔵大地をふみならず | 8. 自然と闘い生命を燃やす 我等祖国の国造り |

高校 3 年秋、黒四ダムに憧れて生涯現役技術者を目指す。高校は「大東急傘下の武蔵工大は日本一の工業大学に成る」と明大建築科よりも武蔵工大を勧める。入学後、寮と柔道部で青春を謳歌する。新入生歓迎会で中岡二郎土木工学科主任教授の旧制東京高等学校「東高節」の替え歌「緑土音頭」を先生・先輩・仲間と歌い踊った感動が青春の華である。

柔道は日体大、東急電鉄へ出稽古、東京オリンピック金メダリスト猪熊功と二人で講道館 400 畳の大道場の 1/4 を独占した猛稽古、夏合宿は故郷の県立武道館で富山大学、富山高校と合同稽古、警察学校で校長・教員が見守る中で猛烈な対抗試合、高鳴道場（私も門下生）とは帰省した国土館、東北柔専などの猛者達と親善試合を行う。1966 年 4 月、ダム 3 社の 1 社としてゼネコンで唯一、富山に北陸支店を持ち北陸電力の有峰ダムを建設した前田建設工業に入社する。

最初の現場は営団地下鉄千代田線根津土木工事では昼夜休日を返上して作業員と汗を流し、町道場の師範代として稽古を続ける。1979 年、東京支店長（私の最初の現場所長・あだ名は蝮・後の副社長）から東洋最大級の北千葉第一機場建設工事（工事費 120 億円、排水能力 80T/秒、軟弱土掘削 50 万 m³、コンクリート 10 万 m³）の所長に指名される。利根川、手賀川、国鉄、市街地に囲まれた現場を密かに夜中に視察、利根川堤防上で武者震いが止まらず指名を断る。

支店長は部課長の「経験の無い若い五艘には無理」との意見に「俺が責任を取る」と抑え、就任を渋る私に「俺が骨を拾ってやる。思う存分にやれ」の言葉で腹をくくる。建設省は若干 35 歳の若者に異例の面接を行い、「君の現場運営の方針を聞きたい」と。直立不動で「若輩で河川工事の経験もないが、本支店、技術研究所の総力を現場に持って来る」と答えると、面接官（後の東北地建河川局長）はニコリ笑って「どうぞ御座り下さい」と。懇談中に説明を受けた掲額「水五訓」の写しが後日届く。「水五訓」は国交省の教育指針として今も工事事務所所長室に掲額されている。

水 五 訓 (黒田如水の作と言われているが 定かではない)

- 一 自ら活動して 他を動かすは 水なり
- 二 障害に会い 激しくその勢力を百倍し得るは 水なり
- 三 常に己の進路を求めて止まざるは 水なり
- 四 自ら潔うして 他の汚れを洗い 清濁併せ容るるは 水なり
- 五 洋々として大洋を充たし 発しては蒸気となり 雲となり 雨となり 雪と変じ 霰（あられ）と化し 凝（ぎょう）しては 玲瓏（れいろう）たる鏡となり得たるも 其（その）性を失はざるは 水なり

工事は 1984 年 3 月に全工期無事故無災害で竣工する。4 月に建設大臣が出席する盛大な通水式が行われ、7 月には全国労働大臣優良賞を授与される。工事受注前の 3 年間の連続重大災害事故（死者：20 名）により国会で「前田建設は殺人会社か」と指弾された会社の優良賞は奇跡である。未熟な若者を信じて、任せてくれた「東京農大柔道部 O B・蝮と呼ばれた前田直雄支店長」に深く感謝している。その後、本・支店で「水五訓、全責任我にあり」を指導する。定年退職後に母校の客員教授を拝命し、柏門技術士会、NPO 法人建設技術監査センターを設立する。技術者教育に今も現役である。「人は組織の支援と信頼が無ければ大成しない。組織のトップは有能な若者を信じて仕事を任せ、若者は「全責任我に在り」の精神で組織を信じて活用すれば必ず道は開ける。「水五訓」の精神で生きて欲しい。 (了)

誌上クラス会 株式会社フジタ OB会だより

監修 進藤敏則（1980年卒：フジタ緑土会会長）
伏島豊太（1983年卒：フジタ緑土会副会長）
記事 小林 健（1993年卒）
柴田博之（1999年卒）

【会社概要】

企業理念「自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために フジタは たゆまず働く」

2015年の大和小田急建設株式会社との合併を経て、新たなスタートを切った新生フジタは国内の土木事業のみでなく、中南米やアジア圏等で数多くの施工実績を積み重ねてきた「海外事業」や土地区画整理事業等の手法を駆使した「まちづくり」など、先人たちから受継がれてきたノウハウにさらに磨きをかけ、不動産開発事業の強化や技術イノベーションによる事業革新など新規事業の創造に努めています。

全社の意識・風土を変え、来る時代の変化に適合しつつ、持続成長を推し進めるために「志」を高く『変革』を、変わる時代に『成長』を」を重点方針に掲げ、大和ハウスグループの総合力を背景に、総合建設業の企業として更なる発展を目指しています。

【OB活動状況】

フジタの土木系職員には武蔵工業大学、東京都市大学出身者が30名在籍しています。OB活動として、「フジタ緑土会」を組織し、高橋年秋顧問（1973年卒）を始め、会長：進藤敏則 執行役員土木本部副本部長（1980年卒）、副会長：伏島豊太 執行役員名古屋支店長（1983年卒）を中心に活動しています。

最近はおかげさまで毎年新入社員を迎えることができ、「フジタ緑土会」も活性化しています。また、毎年4月には新入社員の歓迎会を兼ねて集まり、今年においては、建土営のOBが一体となり親睦を深めました。



新入社員歓迎会を兼ねたフジタ緑土会懇親会（2019年4月開催）

【最近のトピックス】

特に名古屋支店は、伏島豊太執行役員名古屋支店長以下、9名が所属しています。

新名神高速道路菰野工事（NEXCO 中日本：2018年11月竣工）では、当大学出身者3名が同一現場配属となり、共に汗を流しました。菰野工事は、三重県内の新名神高速道路四日市JCT～亀山西JCT間の内、約6kmの新設工事で当社を代表する大型土木工事でした。



新名神高速道路菰野工事全景
(H30.10.22 撮影)



菰野インターチェンジ全景
(H31.3.2 撮影)



全国安全週間集合写真



義田 大貴
(2016 年卒)

小林 健(所長)
(1993 年卒)

中村 友洋
(2013 年卒)

地元のマラソン大会へ参加

また、大型造成土木工事としては、静岡県静岡市にて「静岡都市計画事業 恩田原・片山土地区画整理事業」の業務代行者として、地区面積約 32.8ha の基盤整備工事をはじめ、事業全体の管理・運営及び土地利活用の事業コーディネーターとしてのコンサルティング等”まちづくり”に取り組んでおります。

事業期間は、現事業計画では令和 8 年度までの長丁場となっておりますが、一日でも早期に事業完結を迎えられるよう、関係者一同汗を流して取り組んでおります。



柴田 博之（事務局長）
(1999 年卒)

静岡都市計画事業 恩田原・片山土地区画整理事業



事業区域全景（西から東（富士山）を望む）

静岡都市計画事業 恩田原・片山土地区画整理事業



事業区域全景（北から南（駿河湾）を望む）



概 要

会 社 名	株式会社フジタ (Fujita Corporation)
本 社 所 在 地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号 (商業登記簿上の本店所在地：東京都新宿区西新宿4丁目32番22号)
代 表 者	代表取締役社長 奥村洋治
創 業	1910年12月
設 立	2002年10月
建 設 業 許 可	国土交通大臣許可「(特-29、特-30) 第19796号」
宅 地 建 物 取 引 業 者 免 許	国土交通大臣「(4) 第6348号」
資 本 金	140億円
従 業 員	3,223人 (2019年4月1日現在)
有 資 格 者	工学・理学その他博士…… 37人 技術士…… 210人 一級建築士…… 667人 一級建築施工管理技士…… 1,006人 一級土木施工管理技士…… 764人 宅地建物取引士 (合格) …… 541人

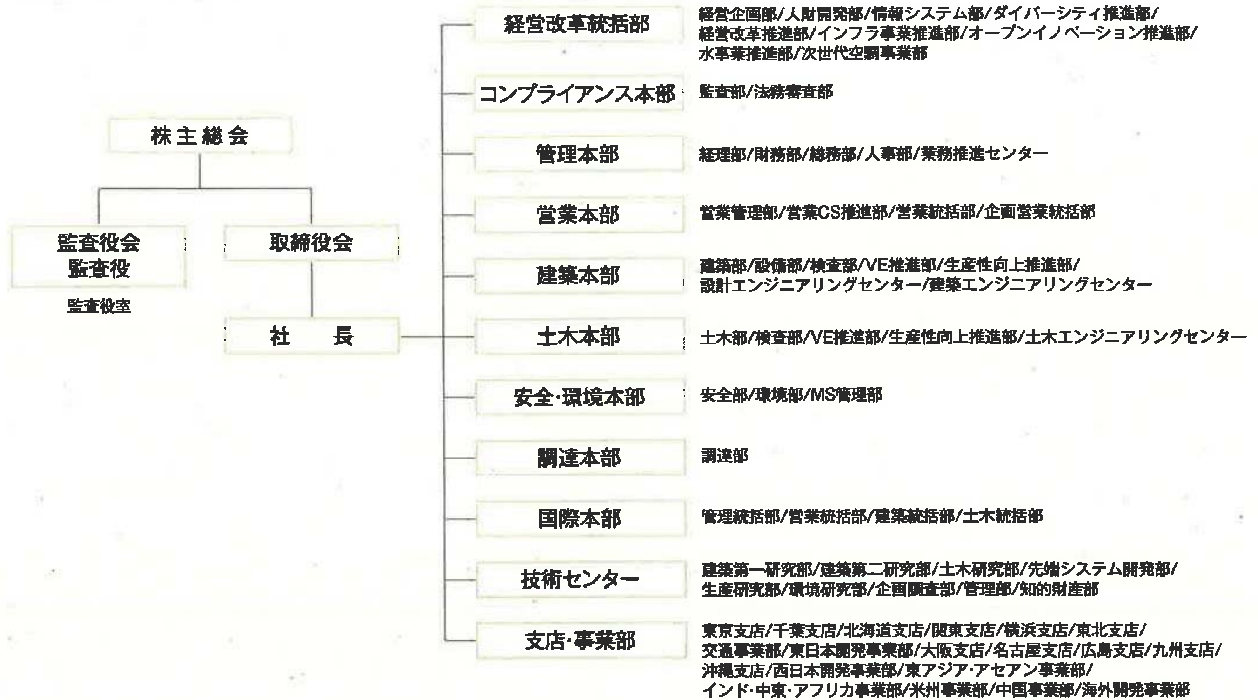
事業内容(定款)

- 1 建設工事の請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務
- 2 宇宙開発、海洋開発、地域開発、都市開発、資源開発および環境整備等に関する調査、企画、設計、監理およびコンサルティング業務
- 3 不動産の売買、交換、賃貸、管理およびこれらの代理もしくは仲介に関する業務ならびに不動産の鑑定評価
- 4 金融商品取引法に基づく第二種金融商品取引業、投資助言・代理業および投資運用業
- 5 不動産特定共同事業法に基づく事業
- 6 宅地の造成および分譲ならびに住宅の建設および分譲に関する業務
- 7 土壌汚染の状況調査および除去等に関する業務
- 8 建物、構築物およびその設備の保守および管理に関する事業
- 9 宿泊施設、スポーツ施設、レクリエーション施設、健康・医療施設、教育施設、飲食店等の保有、経営およびコンサルティング業務ならびに旅行代理店業
- 10 工業所有権、著作権等の無体財産権、ノウハウその他ソフトウェアの企画開発、取得、賃貸および販売ならびに情報処理サービス業
- 11 コンピュータ機器、エレクトロニクス機器等の開発、販売および賃貸ならびに保守および管理に関する事業
- 12 情報通信システムに係る企画開発および販売等に関する事業
- 13 マルチメディアの研究開発に関する事業
- 14 建設用資材、機器および機械装置の製造、加工、販売および賃貸
- 15 住環境設備機器の研究、開発、製造、販売、賃貸、保守および管理ならびに輸出入に関する事業
- 16 労働者派遣事業
- 17 金銭の貸付その他の金融業務
- 18 前各号に付随する一切の事業

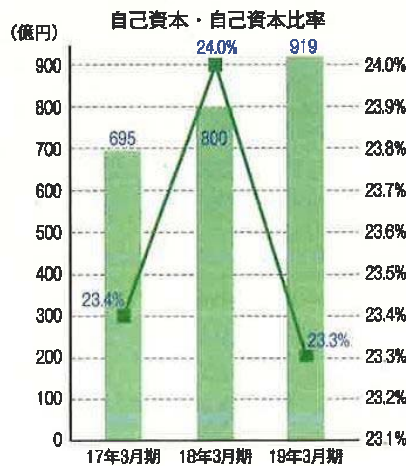
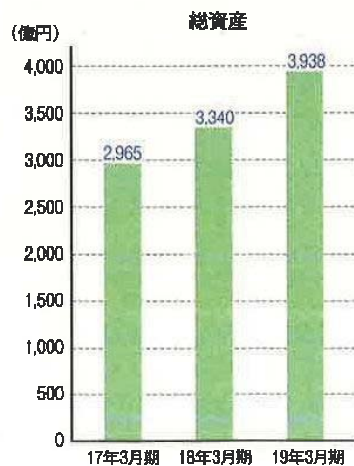
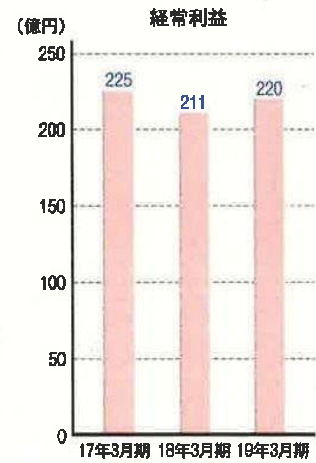
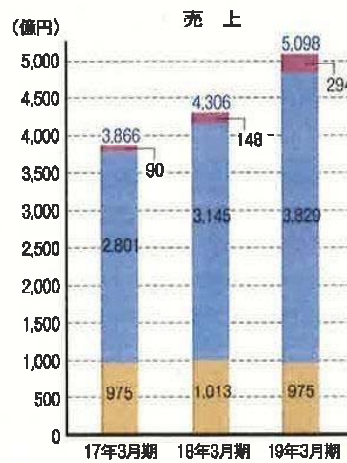
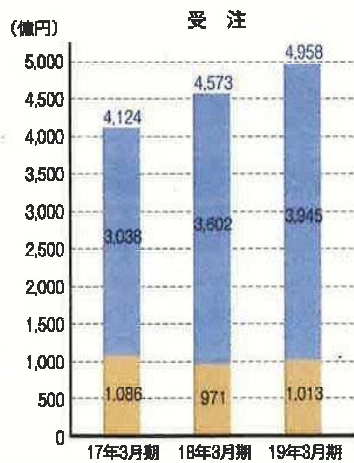
役 員

代表取締役	社 長	奥村 洋治						
代表取締役	副 社 長	土屋 達朗						
取 締 役	専務執行役員	浅川 正幸	壹岐 義人	平野 徹				
取 締 役	常務執行役員	岩井 茂	藤井 正裕	石橋 俊明	空 道一	菅沼 広夫	岡野利喜造	
取 締 役		香曾我部武	土田 和人	浦川 竜哉				
監 査 役		竹村 幸弘	但木 敬一	長嶋 和雄				
執 行 役 員	専務執行役員	岩下 周三						
	常務執行役員	喜田 克英	鈴木 康夫	多尾 敏朗	井出 達也			
	上席執行役員	森 俊之	高山浩一郎	森吉 修	中津 隆正	三浦 隆一	重富 正昭	
		君島 誠司	佐伯 義雄	野田 伸一	岡田 正博	佐藤 明久		
	執 行 役 員	新谷 恭英	松本 元	進藤 敏則	安東 則好	元木 大平	伏島 豊太	
		高須登志也	渡辺 伸	川口 雅史	組田 良則	中井 雅章	南口 聡	
		古賀 雅嗣	吉田 篤史	前淵 広之	下田平 滋			

組織



株式会社フジタ業績推移 (■土木 ■建築 ■開発事業等)



支店・事務所一覧

	TEL	FAX
本 社	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル 03-3402-1911	03-3404-8477
北海道支店	札幌市中央区北4条西3-1 交洋駅前ビル9階 011-251-6151	011-281-2194
東北支店	仙台市青葉区国分町2-14-18 定禅寺パークビルディング 022-262-1601	022-224-5958
青森営業所	017-734-7397	017-775-3488
盛岡営業所	019-622-4639	019-654-6102
福島総合営業所	024-524-0990	024-524-0143
東京支店	東京都新宿区西新宿4-32-22 03-5309-2100	03-5309-2373
多摩総合営業所	042-527-1270	042-527-1143
千葉支店	千葉市中央区弁天1-15-1 043-253-1911	043-253-1441
東葛営業所	04-7192-6311	04-7192-6312
関東支店	さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル17階 048-657-1630	048-657-1492
茨城営業所	029-828-6651	029-828-6652
栃木営業所	028-688-7100	028-688-7111
北陸総合営業所	076-263-7156	076-263-0576
新潟営業所	025-243-1911	025-241-2653
長野営業所	026-227-3651	026-228-4396
富山営業所	076-432-6400	076-442-3306
横浜支店	横浜市神奈川区金港町7-3 金港ビル5階 045-594-6722	045-594-6746
川崎総合営業所	044-299-6351	044-299-6352
湘南営業所	0463-73-8564	0463-23-8736
山梨営業所	055-235-2968	055-235-2140
交通事業部	東京都新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル8階 03-3376-3140	03-3345-7072

海外事業所

	TEL	FAX
上海事務所	+86-21-6841-5522	+86-21-6841-5667
香港支店	+852-2311-1398	+852-2375-1965
フィリピン支店	+63-2-856-0621	+63-2-856-0845
ソウル支店	+82-2-756-7173	+82-2-756-7745
ハノイ事務所	+84-24-3726-2452	+84-24-3726-2453
ホーチミン事務所	+84-28-3512-0757	+84-28-3512-0755
メキシコ支店	+52-55-5574-3599	
バンコク事務所	+66-2714-7325	+66-2714-7336
台北支店	+886-2-2541-3600	+886-2-2531-4000

	TEL	FAX
名古屋支店	名古屋市中区新栄2-1-9 052-259-6000	雲電FLEX西館4階 052-259-8017
豊田総合営業所	0565-85-8615	0565-85-8616
静岡総合営業所	054-287-5175	054-287-3570
富士営業所	0545-67-3022	0545-67-3033
浜松営業所	053-541-7552	054-287-3570
三重営業所	059-351-1801	059-351-1802
大阪支店	大阪市北区堂島2-1-16 06-6348-4510	フジタ東洋紡ビル 06-6345-4560
神戸総合営業所	078-331-9414	078-331-9417
京滋総合営業所	075-354-3326	075-344-4771
和歌山営業所	073-432-3836	073-432-8843
広島支店	広島市中区中町8-8 082-241-4131	082-241-4166
岡山総合営業所	086-241-1361	086-243-5596
広島東部営業所	0848-20-1455	0848-24-7066
山口総合営業所	083-941-5860	083-941-5862
徳山営業所	0834-21-0581	0834-22-0898
山陰営業所	0859-37-5987	0859-22-3657
四国営業所	087-867-8711	087-867-9024
松山営業所	089-924-5045	089-924-5062
高知営業所	088-832-3721	088-832-3704
九州支店	福岡市博多区下川端町1-1 092-281-0661	明治通りビジネスセンター本館 092-281-0232
北九州総合営業所	093-541-2636	093-541-2638
大分営業所	097-532-3165	097-532-3166
長崎営業所	095-823-4231	095-823-6410
熊本営業所	096-353-5122	096-352-1165
南九州営業所	099-251-1555	099-251-1556
沖縄支店	那覇市久茂地2-12-21 098-863-7351	電波堂ビル8階 098-863-6973
国際本部	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11 03-6709-8691	アグリスクエア新宿10階 03-6709-8694
東日本開発事業部	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル 03-3402-1911	03-3404-8477
西日本開発事業部	大阪市北区堂島2-1-16 06-6348-4510	フジタ東洋紡ビル 06-6345-4560
技術センター	神奈川県厚木市小野2025-1 046-250-7095	046-250-7139

	TEL	FAX
ドバイ支店	+971-4-323-7022	+971-4-323-7052
インド事務所	+91-44-4857-4048	
ヤンゴン支店	+95-1-373634	
マレーシア支店	+60-3-2287-6188	+60-3-2201-8966
シンガポール支店	+65-6337-3336	+65-6338-6188
ドーハ支店	+974-4476-3463	
ペルー支店	+51-01-642-1212	
ケニア支店	+254-20-513-8505	
ロサンゼルス事務所	+1-818-981-2657	

創業以来、技術力を強みとして国内外で多くの実績を重ねてまいりました。
2015年には2社合併により新生フジタとなり、今後もお客様とともに、さらなる成長を続けてまいります。

大和小田急建設のあゆみ

1869 創業期

明治維新直後、商職であった初代 野村専太郎が、新宿に「野村組」を創業。新時代到来による建設ラッシュで、事業規模を拡大。

1910 創業期

本格的土木請負工事の第一号として、成田～宗吾を結ぶ千葉最初の電気鉄道「成東電車」の軌道内トンネル2つが完成。

土木学会選奨土木遺産として那覇レンガ造りの「第一トンネル」「第二トンネル」は、現在でも当時の姿をそのまま保ち、2014年に土木遺産として認定された。

1915 鉄道整備

京王電気軌道(現 京王電鉄)の天神橋～新宿間の敷設工事に着手し、鉄道敷設事業へ本格進出。

1923 鉄道整備

西武鉄道の前身のひとつである、武蔵水電軌道敷設工事(中野～新宿間)を手がける。

1930 まちづくり

野村組初の鉄骨鉄筋コンクリート造り高層建築となる東京府付属庁舎の増築工事を担当。

1939 株式会社野村組となる。

1948 野村工務株式会社社名変更。

1966 まちづくり

まちの発展に伴う業務の拡大に対応するため建設が決まった、新宿区新庁舎の施工を担当。

1966 まちづくり

小田急電鉄から指名を受けた、新宿西口広場・駐車場が竣工。西口広場は、世界初の立体式広場として国内外の大きな注目を集めた。地下街・駐車場設備には、当時最先端の防火・防煙設備を導入。

1971

小田急グループへ参画し、社名を小田急建設株式会社に変更。

1993 鉄道整備

箱根登山鉄道「箱の輪トンネル」拡張工事が竣工。独自工法を用いて、鉄道を休止することなく、単線から複線トンネルへの拡張工事に成功。

2005 鉄道整備

小田急線複々線化事業の一環として、世田谷代田駅～善多見駅間の立体交差工事が竣工。

2007 安全対策

BCPマニュアルを策定し、国土交通省からの認定を受ける。その後、小田急グループ3社および協力会社と災害協定を締結し、安全・安心な沿線価値の向上に貢献するなど、「災害に強い建設会社」として活動。

2008 大和ハウスグループの一員となり、社名を大和小田急建設株式会社に変更。

2012 まちづくり

富山市における再開発事業として、地上14階建ての住宅/店舗となる建物を手がける。また、2013年からは同市内のデパート跡地を商業施設・分譲マンションへ再生するプロジェクトがスタート。

2013

まちづくり 金沢駅前再開発事業において、環境配慮型分譲マンションが竣工。

鉄道整備 箱根ロープウェイ大涌谷駅舎の建て替え工事が竣工。

フジタのあゆみ

1910 創業期

兄・藤田一郎と弟・定市によるブラザーズカンパニーとして広島市で創業。その後、事業を広島、九州、全国へと拡大。

1942 株式会社藤田組となる。

1945 創業期

フジタが1939年に施工した広島日赤病院(現 広島赤十字・原爆病院)は、原爆にも立ち残り、被爆者治療の拠点となる。フジタの戦後復興は、被災した同病院の再建からスタート。

1960 技術力

技術開発の中核となる技術研究所が品川に発足。

1962 海外建設事業

海外事業の先駆けとして南米調査団を派遣。その後、海外事業を中南米、グアム、米国、台湾、韓国、中東へと展開。

1968 進取の精神

国内建設会社で初めてVE(Value Engineering)を導入。

1971

フジタ工業株式会社社名変更。

1975 技術力

世界初の海上空港「長崎空港」完成。経済性と環境保全を考慮した新技術を導入。

1987 海外建設事業

中国進出を開始し、2つ目の事業として「西安グランドキャッスルホテル」建設に着手(1993年に開業)。

1988 まちづくり

本格的な大型生活事業コンペによる「大宮ソニックシティ」竣工。電波対策など周辺環境への技術的配慮が高く評価され、「まちづくりのフジタ」を印象付ける。

1990

株式会社フジタに社名変更。

1995 まちづくり

4,570haの広大な丘陵地に複合ニュータウンを建設する「西広島開発プロジェクト」が竣工。

2003 海外建設事業

北米、南米向け自動車生産拠点として注目されるメキシコに支店を開設。その後、多くのサプライヤー生産施設を手がける。

2011 東日本大震災からの復興

震災復興への取り組みとして、宮城県山元町において災害廃棄物、津波堆積物処理の中間処理、最終処分を実施。

2013 大和ハウスグループの一員となる。

2013 東日本大震災からの復興

被災した仙台市南蒲生浄化センター(仙台市の汚水の約7割を処理する)の復旧工事を開始。

2015 大和小田急建設とフジタが合併し、新生フジタとなる

2015 開発事業

大和ハウス工業株式会社と共同出資し組成した彩都東部合同会社(SPC)が、大阪府茨木市の約47haの敷地において、産業団地「茨木北テクノタウン」の開発に着手。

2016 まちづくり

千葉県習志野市において、2007年から手がけてきたまち「妻の杜」が全棟(35ha)で本格稼働。

2017 まちづくり

プロジェクト始動から25年、東京都新宿区西新宿において、日本初の60階建て(高さ約209m)のマンション「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」を中心とする大規模再開発事業が完了。

2017 海外建設事業

ミャンマー・ヤンゴン市において、東京建物株式会社様、株式会社海外交通・都市開発事業支援機構様および現地企業とともに、オフィス・商業施設・ホテルからなる大規模複合施設開発に着手。



武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部 OB会だより（集合写真 別紙資料）

武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部 OB会が武蔵小金井にて令和元年6月18日に開催されました。

緑土会会員が2名参加され、写真を提供頂きました。紹介します。

前列左から2番目が船越さん（昭和41年卒業）、5番目が重田さん（昭和39年卒業）のお二人です。

船越さんは関東緑土会の顧問で誌上クラス会で主要メンバーです。

また重田さんは先月発行の「関東緑土会だより NO16」で「印象的な業務とその後の活動（山登りの記録）」を投稿して頂いております。

お二人とも後期高齢者ではありますが元氣でご活躍です。



武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部OB会 於:武蔵小金井TERAKOYA 令和元年6月18日

WV部 シルバー会、卒業年 氏名（緑土会のみ）

38 35

(38) (41船越靖彦) (38) (38) (39重田哲朗) (38) (39) (47) (38) (38)

前東京都議会議員「川井しげおを励ます会」 参加日 8月2日

関東緑土会 小林哲男（昭和47年卒業）

今回の誌上クラス会は、前都議会議員で武蔵工業大学土木工学科 昭和46年卒業の川井重勇さんを励ます会が8月2日に開催され、小林が参加しましたので「誌上クラス会」として紹介します。

大勢の参加者がおられました。確認できた同窓生は浅野さん（昭和52年卒業）、太田さん（昭和56年卒業）、以外確認出来ませんでしたので、川井さんを含め4名で記念写真を撮ってもらいました。

帰り際には世田谷で土木建設業を営んでいる高橋利明さんがおられました。他にも同窓生で参加者がおられましたら失礼いたしました。

川井さんは、前回の都議選で惜しくも落選されておりますが、これまでオリンピック・パラリンピック招致活動に活躍され、また東京都議会議員として都政の円滑な運営・発展にも尽力されてきました。

現在は自由民主党東京都連最高顧問として、また土木技術者の一員として現在もいろいろな機会・場所でご活躍をされています。特にオリンピック・パラリンピック関係につきましては誘致にも関わられておることから、来年に迫った本番に向けてのご活躍を後輩として祈念しております。



左より 小林（昭和47年卒）、川井さん（昭和46年卒）、

浅野さん（昭和52年卒）、太田さん（昭和56年卒）



丸川珠代参議院議員も応援に駆け付けられていました。
小林はちゃっかりツーショット



緑土会OB 訪問

緑土会会員訪問は、今月は6社になります。

今回の紹介は、港湾関係に携わっているOBさんが多くなりました。

次回以降も紹介していきたいと思いますので自薦他薦どんな形でも結構ですので投稿なり紹介なりお願いします。

1、「若築建設株式会社 東京支店」	訪問日	7月22日
2、「総合技術コンサルタント 東京支社」	訪問日	8月 1日
3、「東洋建設株式会社 横浜支店」	訪問日	8月 6日
4、「東亜建設工業 横浜支店」	訪問日	8月 6日
5、「港湾空港総合技術センター 関東支部」	訪問日	8月 8日
6、「株式会社ビー・ビー・エム 本社技術部」	訪問日	8月20日

1、「若築建設株式会社 東京支店」 7月22日 訪問

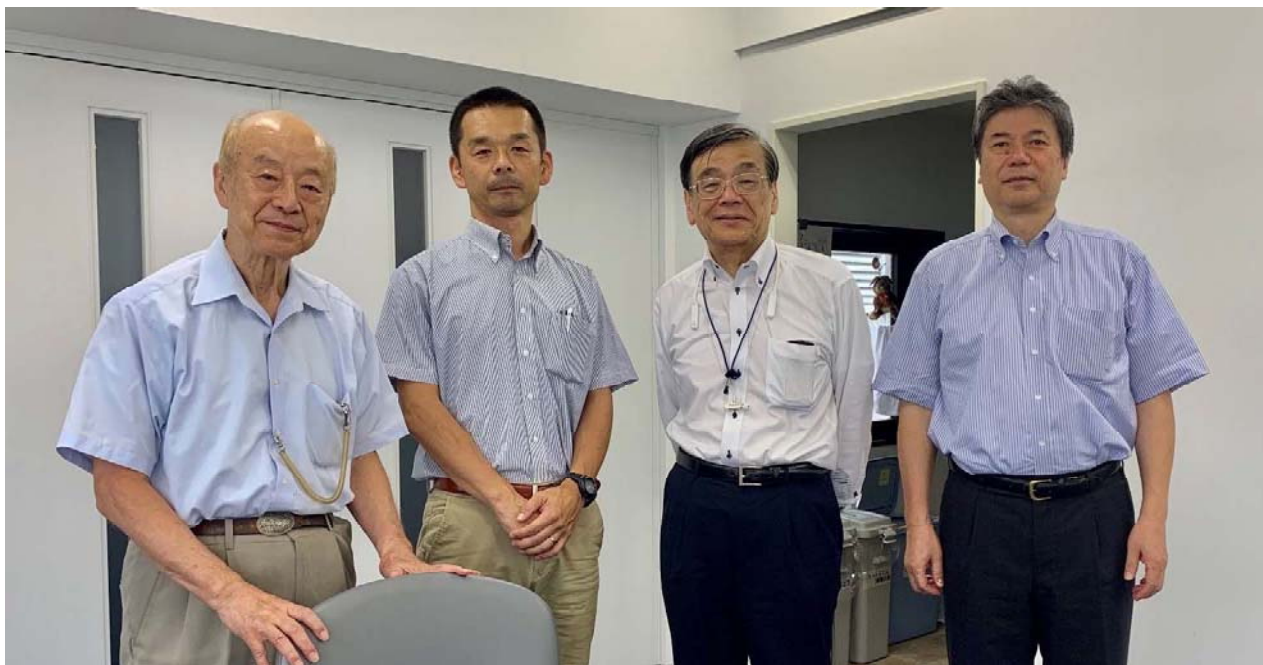
集合写真の真中が若築建設株式会社の 田村康幸氏（平成2年卒業 水理研究室）



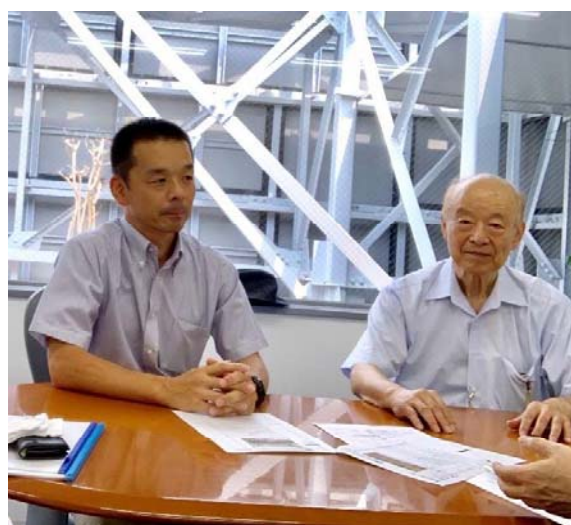
集合写真、左より 船越顧問、田村さん（平成2年卒業）、中山幹事

2、「株式会社総合技術コンサルタント 東京支社」 訪問日 8月1日

集合写真の左から2人目が株式会社総合技術コンサルタントの山本晃弘氏
(平成11年卒業 応用力学研究室)



左から船越顧問、山本さん（平成11年）、小林、中山幹事



3、「東洋建設株式会社 横浜支店」

訪問日 8月6日

集合写真の左が東洋建設株式会社 横浜支店の金子修司氏

(平成2年卒業 水工学研究室)



左より 金子さん（平成2年卒業）、船越顧問



4、「東亜建設工業 横浜支店」

訪問日 8月6日

集合写真の左が 東亜建設工業株式会社 横浜支店の皆川昌司氏
(平成3年卒業 水理研究室)



左より 皆川さん（平成3年卒業）、船越顧問



創始者 浅野総一郎氏像と共に

5、「港湾空港総合技術センター 関東支部」 訪問日 8月8日

集合写真の右が港湾空港総合技術センター 関東支部の保坂鉄矢氏（昭和41年卒業）

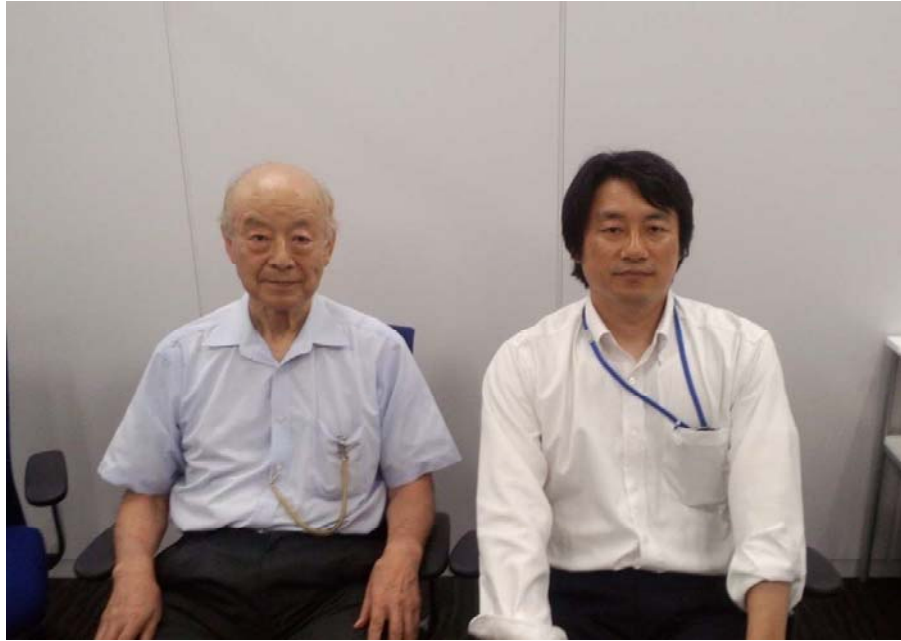


左より 船越顧問、保坂さん（昭和41年卒業）



6、「株式会社ビー・ビー・エム 本社技術部」 訪問日 8月20日

集合写真の右が株式会社ビー・ビー・エムの高野 真氏（平成9年卒業）



左より 船越顧問、保坂さん（平成9年卒業）

